

議 事 録

記載者；川崎秀規

一般社団法人 岩手県警備業協会

総 会 名	一般社団法人岩手県警備業協会平成29年度定時総会
日 時	平成29年6月16日午後4時00分～午後5時45分
場 所	盛岡市大通3丁目3番18号「ホテル東日本盛岡」
出 席 者	理事（11名） 阿部正喜 内村尚文 及川明彦 渡邊敬志 阿部裕美 越場健一 泉澤 譽 對馬博貴 日向清一 藤沢邦雄 川崎秀規 監事（2名） 工藤 敏 落安昭三 欠席理事（2名） 大坪幸平 佐藤耕造 【出席正会員の内訳】 正会員本人の出席 34人 自社社員への委任状 14人 他の正会員への委任状 5人 書面表決原案賛成 10人 合 計 63人 欠席正会員 0人
事 務 局	川崎秀規事務局長（再掲） 佐々木一彦事務局次長

第1 開会行事（表彰・挨拶）

1 開会のことば

副会長の内村尚文氏が開会を宣した。

2 表彰状の授与等

次の功労等に対して表彰を行った。

- (1) 警備業役員功労者表彰（警察本部長及び協会長連名）
理 事 越 場 健 一 （桜心警備保障株式会社）
- (2) 優良会員表彰（協会長名）
 - ア 有限会社東部総業
 - イ 有限会社岩手保安
 - ウ 東陵総業株式会社
- (3) 犯罪検挙、災害等の未然防止功労者表彰（協会長名）
二 又 俊 之（ALSOK岩手株式会社）
- (4) 優良社員表彰（所属会社関係者に受付の際に手渡し）
協会表彰規定により、12社から上申された25人に対し授与した。

- (5) 労災防止論文・標語等県優秀者表彰
- ・ 論文部門 2人
 - ・ ポスター部門 1人
 - ・ 標語部門 3人
- (6) 東北地区連合会主催論文県優秀者表彰
1人

3 会長挨拶

会長の阿部正喜氏が挨拶を行った。

4 来賓祝辞

岩手県警察本部生活安全部長 羽澤武志氏が祝辞を述べた。

第2 議事

1 議長選出

定款第18条に基づき、事務局提案により

有限会社フロンティアガード 小野寺啓一氏
が異議なく承認され、議長に就いた。

2 資格確認

川崎専務理事が、

現在数63人の正会員に対して

正会員本人の出席	34人
自社社員への委任状	14人
他の正会員への委任状	5人
書面表決原案賛成	10人

であり、定款第19条の規定により総会は有効に成立していることを報告した。

3 議事録署名人の選任

会長及び事務局が提案した

いわぎんビジネスサービス株式会社 成田行穂氏
株式会社みちのく銀河警備保障 細田芳氏

が、それぞれ異議なく承認された。

4 議 事

議長が、関連する案件は一括審議することについて出席者に賛否を諮り、一括審議を可とする承認を得た上で審議に入った。

- (1) 第1号議案「平成28年度事業報告について」、第2号議案「平成28年度収支決算報告について」の審議と承認

専務理事が、第1号議案から主なものを抽出して

- ・ 会議等の開催状況として
定時総会、理事会及び役員候補者選考委員会の審議内容
- ・ 専門委員会の開催状況として
総務委員会、指導教育委員会、労務委員会、施設・貴重品・身辺警備委員会、交通・雑踏警備委員会、防災委員会、警備業コンプライアンス有識者会議の活動内容
- ・ 講習会・研修会等の実施状況
- ・ 広報・宣伝活動の実施状況
- ・ 地域安全活動及び交通誘導警備指導活動の実施状況
- ・ 特にも11月1日は警備の日であることの広報として、盛岡駅での県、

県警と連携し、県・県警・盛岡西署員も参加した振り込め詐欺被害防止広報活動、事務所での会長インタビュー、岩手日報紙への会員各社の協力を得ての広告掲載、ラジオ広報等の実施状況

- ・ 各種会議・親睦行事・他機関行事等への参加状況
- ・ 他機関への支援活動状況

について説明した。

更に、第2号議案の貸借対照表、正味財産増減計算書、収支計算書のそれぞれに関して、

- ・ 貸借対照表での、平成28年度末資産の合計額及び正味財産額
- ・ 正味財産増減計算書での、経常収益及び経常費用に係る科目毎の金額の増減
- ・ 収支計算書での、事業活動収支、投資活動収支等に係る科目毎の金額の増減

などを説明した。

専務理事の説明終了後、落安昭三監事が監査結果の報告を行った。

監査報告の後、議長が、

ただ今報告のありました第1号議案及び第2号議案について質疑を行います。ありませんか。

と正会員に発言を促したが、質問、意見がなかったことから、議長が、第1号議案及び第2号議案について承認を求めたところ、満場異議なく、事務局の報告、提案のとおり承認可決された。

(2) 第3号議案「平成29年度事業計画（案）について」、第4号議案「平成29年度収支予算書（案）について」の審議と承認

専務理事が、まず、第3号議案の前文及び本文の主要部分について次のように説明した。

- ・ 前書きとして、最初に警備業界の位置づけ、続いて情勢分析、最後に大綱方針として5項目を重点に事業を推進することを掲げ、この中で、東日本大震災・津波被害からの復興事業がピークを迎えていること、警備員の高齢化、人材不足の顕在化、仕事があっても働き手を確保できないなど、警備業界を取り巻く環境が厳しさを増していること、平成31年のラグビーワールドカップの開催を見据えつつ、昨年に引き続き、5項目を重点にして事業を推進することを掲げた。
- ・ 定時総会、専門委員会、全国、東北地区連合会議の開催予定、重点業務の推進計画については総会資料記載のとおりであること、別表に、特別講習の日程、警備員指導教育責任者講習、東北地区警備業協会連合会特別講習講師合同研修会の各日程を記載した。

続いて第4号議案の主要な部分について、次のように説明した。

- ・ 会費収入、受講生、事業センターからの配分経費の減少傾向があることから、本年度も研修センター積立金を中止して、必要な予算を確保した。
- ・ 事業活動収入の合計額は、前年度より33万3,000円少ない3,243万0,500円を見込んでいる。
- ・ 教育事業については、受講生の数、実施回数、種目の増減等を勘案し、それぞれ前年度と比較して特別講習事業で80万円の減、受託事業で40万円の増、現任講習事業35万8,000円の減を見込んでいる。

- ・ 広報宣伝費、会議費、専門委員会運営費は、前年並み以上に確保した。
- ・ 事業活動支出合計は、前年度より18万2,000円少ない3,099万2,000円で、研修所建設積立を除く投資活動支出の合計78万円、予備費50万円を差し引けば、当期収支差額が15万8,500円となる。

と科目を拾って説明したのち、科目流用の承認をお願いして、第3号議案及び第4号議案の説明を終わった。

第3号議案及び第4号議案の専務理事による説明に対して、議長が、ただ今報告のありました議案について質疑はありませんか。

と正会員に発言を促したが、質問、意見がなかったことから、議長が、第3号議案及び第4号議案について承認を求めたところ、満場異議なく、事務局の報告、提案のとおり承認可決された。

(3) 第5号議案「経営健全化推進に関する決議（案）について」の審議と承認

専務理事が、第5号議案は、平成28年10月5日に開催された東北地区警備業協会連合会会長等会議において提案されもので、東北各県協会がそれぞれ平成29年度の総会で承認することを求められているものであること、ここで、内村副会長が決議案を朗読するので、これを持って承認を頂きたいと説明し、内村副会長が決議案を朗読した。

内村副会長による朗読後、議長が、第5号議案について承認を求めたところ、満場異議なく、事務局の報告、提案のとおり承認可決された。

(4) 第6号議案「任期途中の役員の辞任に伴う一般社団法人岩手県警備業協会役員の選任について」の審議と承認

専務理事が、議案書の提案理由を説明した後、5月30日に開催された役員候補者選考委員会において候補者を選考した、との報告を受けたので、この結果を役員候補者選考委員会の苅宿定男委員長から報告すると説明し、苅宿委員長から報告を求めた。

この求めに、議長から促された苅宿委員長が、役員候補者選考委員会の選考過程を報告し、役員候補者は、

株式会社大盛警備保障 田口 博行 氏

に決定したこと、決議をお願いする旨を報告した。

この報告の後、議長は拍手による採決を行い、役員候補者が満場一致で選任された。

議長は、ここで議案の審議の全てが終了したことから一旦総会を休会とし、ただ今選任された理事を含め役員による理事会が開催される旨を宣した。

理事会終了後、再開された定時総会において、専務理事が、副会長の新たな選任はなかったこと、田口理事が担当する委員会が決定したこと等を報告した。

5 事務局報告

議案審議が終了した後、専務理事は、次の事項について報告した。

(1) 鳥インフル対応調査結果について

6 議長退任

事務局報告が終了したことから、小野寺議長は退任した。

7 閉会の言葉

副会長の及川明彦氏が閉会を宣言した。

以上で、一般社団法人岩手県警備業協会平成29年度定時総会の一切を終了した。時に、午後5時45分であった。